

大学図書館が提供するパスファインダーの 実態調査

A Survey on Pathfinders Provided by Japanese University Libraries

学籍番号：201621643

氏名：于 紅宇

Hongyu YU

近年、ウェブ上の情報資源が大量に増えている中で、自分自身に本当に必要な情報を正しく選択することは、より困難で負担のかかる作業になってきていると言われている。また、学生の情報リテラシー習得・向上などは、大学における必須の教育課題となっているが、大学図書館における情報リテラシー教育に貢献できるものとして、「パスファインダー」が考えられている。しかし日本の図書館では普及率が低く、パスファインダーに関する研究も少ない。そこで、本研究では、大学図書館が提供するパスファインダーの実態調査を行い、その現状を明らかにするにより、今後のパスファインダーの提供及び発展の一助になりたいと考えている。

本研究ではパスファインダーの実態を調査するため、先行研究の伊藤・小澤（2008）と同じ基準で、72館の大学図書館を選び、更に他の大学図書館も無作為で561館を抽出し、計633館のパスファインダーの有無や内容を調査する。調査項目は主に分野、パスファインダーのテーマ数、テーマ、授業関連、最新更新日、図書、ISBN、出版年、資料タイプ、推薦されているデータベースの情報を収集した。

本研究でパスファインダーを提供していると判断された18館では、更新日を把握できない館が3館あったが、残りの15館に関しては、2017年に更新されている館は7館、2016年に更新されている館は2館にとどまり、残り6館は更新をやめている可能性があった。授業支援としてパスファインダーを作成している館は6館あった。更新日を把握できない1館があったが、2017年と2016年まで更新を続けているのは4館であった。授業支援としてパスファインダーを作成する場合は、更新し続ける可能性が高いかもしれないと考えられる。パスファインダーの作成分野を見ると、全18館が「社会科学」に関するパスファインダーを作成していた。「産業」に関するパスファインダーを作成している館は最も少なく、今後は、「社会科学」以外の分野も増やすことが重要と思われた。

研究指導教員：辻 慶太

副研究指導教員：緑川 信之